

キャラクター名  
オールダム

プレイヤー名

シンドローム	キュマイラ		ワークス	FHチルドレンA	カヴァー	マスターエージェント
	キュマイラ					
オプション			年齢	16	性別	男
覚醒	憤怒	衝動	闘争	初期侵食率	46	%
出自	義理の両親	経験	伝説	邂逅	愛	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	37
肉体	6	1	0		1	8	行動値	3
感覚	0		0		1	1	(非装備時)	3
精神	0		0		1	1	戦闘移動	10
社会	2		0			2	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	9	2	射撃		2	RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	6	1	調達	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:	FH	1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
禍(滅びの刃)	白兵	9r+11	6(9)	10(20)		カの証により取得。メインプロセス終了時浸食率+2。浸食率が100%を超えたら()内のデータ
60↓	白兵	10r+11	6	90		装甲無視
100~129	白兵	12r+9	9	108		装甲無視
禍炯眼闇鴉	白兵	9r+9	9	20		社解時の名前。滅びの刃の100%以上。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
邪王の外套		7			<破壊の渦動>取得。基礎浸食+8

所持品	
ウェポンケース	肉焼きセット
コネ:FH幹部	ライター
オーヴァードシュート	火打石
オーヴァードダッシュ	火打金(鎌)
濃縮体	水着
亡霊の御印	刀お手入れセット
力の証	砥石
デモンズシード	バックパック
パワーソース:サイエンス	財布
私服	スマートフォン
タオル	寝袋

合計装甲: 7    合計回避: 0

ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイマス消費
Dロイス:破壊の子	P	N	
Dロイス:「遺産の器:蛇王の外套」	P	N	
REC:強羅瑠璃	P 有為	N 脅威	
カリサ	P	N	
	P 義兄弟	N	
	P	N	
	P	N	

最大財産P: 8    残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	CL-Lv							
獣の力	10	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	攻撃力+[Lv×2]							
獣王の力	1	3	メジャー	武器	-	対決	リミット	
効果:	《獣の力》の効果をも「このエフェクトを組み合わせた白兵攻撃の攻撃力を+[LV*4]する」に変更する							
破壊の渦動	1	5	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	1点でもHPがダメージを与えたとき、シーン中装甲無視。1シナリオLv回							
イージスの盾	5	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	ガード値+(Lv)D							
軍神の守り	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	カバーリング。」1メインプロセス1回							
旅する魔獣	★	-	常時	至近	自身	自動成功	-	
効果:	鳥や魚など長距離を移動するのに適した姿に変化する							
海の恩恵	★	-	常時	至近	自身	自動成功	-	
効果:	えらを作り出す能力がある。水中ペナルティを受けない							
猫の瞳	★	-	常時	至近	自身	自動成功	-	
効果:	暗視。判定は知覚							
眠れる遺伝子	★	-	常時	至近	自身	自動成功	-	
効果:	動物に変身。服は毛や鱗。猫の場合外套は首輪。禍は牙や爪になる							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

【設定】  
物心つく前にオーヴァードの抗争に巻き込まれ、両親を亡くし、一人の女に拾われた。その女は周りからマスター・サムライと呼ばれていた。女は俺に教育と戦闘方法を教えた。生きるために必要だという。  
ある日、女が任務のために長期間出掛けたとき、これはとあるFHセルに預けられた。そこで一人の女の子と出会う。名前は友姫という明るい子だった。よそ者である俺にも親身に接してくれる彼女を俺は好ましく思っていた。しかし、数日後いつも来るはずの彼女が来なかった。不信に思った俺はセルを探し回り……地獄を見た。自分と同年あるいは下くらいの子供たちが人体実験されていたのだ。響き渡る悲鳴、子供たちの泣き顔……そして実験に失敗した友姫の姿。俺は友姫に駆け寄ったが、何もできず、ただ彼女の最後の言葉を聞いた。「今日……会いに行けなくてごめんね……」。その言葉を聞いたとき俺の中の何が壊れた。「殺してやる」。"生き物を物としてしか見ないでめえら外道は全員……俺が殺してやる!"身を滅ぼしかねないほどの黒き憤怒。あまりにも強すぎた怒りの業火は、食事に含まれていた体内に眠るレネグイドの覚醒を促すαトランスにより活性化していたレネグイドウィルスと共鳴。俺はオーヴァードに覚醒した。それは鬼にでも何でもなってる容赦なく、一人も生かさず殺し尽くした。女が帰ってきたとき、俺のキュマイラの力の獣の力を見て、とあるFHの研究所に連れていかれた。何でもそこはオーヴァード同士の毒物の研究をしていて、ちょうど獣の力の毒物を開始するとのことだった。俺を実験体にするつもりかと問うと、ここは全て修羅の道を歩むと決めた者たち。真に強き侍となるためには彼らを越え屍を背負い進めと言われ、俺は参加した。戦闘訓練の成果と実戦経験もあって何とか勝ち抜いた。力が強くなった感覚はあまりなかったが、そこにいたコードウェル博士という奴が、「マスターの名を受け継いだとき、真価を発揮するだろう」そう予言じみた言葉と証を残し去っていった。  
それから、女との生活は続いた……だが、その日々は唐突に終わりを告げた。いつものように買い出しに行き、いつものように何もなくて帰ってきた日だ。俺「ただいま……マスター？」形式上、女のことはマスターと呼んでいる。その女から返事が無い。どこかに出掛けでもしたのだろうか。そう思い荷物を置いて自室に戻ると扉は壊れ、中は凄惨なものとなっていた。窓も割れていた。壁にはいくつもの刀傷や爪痕があった。だが、それ以上に……

